

平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果について

彦根市教育委員会
平成 30 年 9 月

ひこねっこの「学習状況」について

平成 30 年 4 月 17 日（火）に、全国の小学校 6 年生および中学校 3 年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査では、児童生徒の学習状況把握のための「教科に関する調査」と学習意欲や学校生活、生活習慣などを把握する「質問紙調査」がおこなわれました。

今回の調査を分析して、この調査から見てきた本市児童生徒の学力と学習状況に関する結果をお知らせします。

彦根市の教科に関する調査結果

○平均正答数(平均正答率)

※調査の結果は、学力の特定の一部です。

| 教科等 | 国 語 | | 算 数・数 学 | | 理 科 ※3年に一度実施 | |
|-------|-------|----------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| | A「知識」 | B「活用」 | A「知識」 | B「活用」 | | |
| 小 学 校 | 全 国 | 8.5問/12問 (70.7%) | 4.4問/8問 (54.7%) | 8.9問/14問 (63.5%) | 5.1問/10問 (51.5%) | 9.6問/16問 (60.3%) |
| | 滋賀県 | 8.2問/12問 (68%) | 4.3問/8問 (53%) | 8.5問/14問 (60%) | 4.9問/10問 (49%) | 9.3問/16問 (58%) |
| | 彦根市 | 8.4問/12問 (70%) | 4.3問/8問 (54%) | 8.8問/14問 (63%) | 4.9問/10問 (49%) | 9.4問/16問 (59%) |
| 中 学 校 | 全 国 | 24.3問/32問 (76.1%) | 5.5問/9問 (61.2%) | 23.8問/36問 (66.1%) | 6.6問/14問 (46.9%) | 17.9問/27問 (66.1%) |
| | 滋賀県 | 23.9問/32問 (75%) | 5.2問/9問 (58%) | 23.5問/36問 (65%) | 6.3問/14問 (45%) | 17.3問/27問 (64%) |
| | 彦根市 | 23.7問/32問 (74%) | 5.3問/9問 (59%) | 23.6問/36問 (66%) | 6.2問/14問 (44%) | 17.8問/27問 (66%) |

※昨年度から滋賀県・彦根市の平均正答率は整数値での公表になりました。

国 語

平均正答率は、小学校・中学校で、A問題・B問題ともに、全国平均を下回りました。

小学校では、相手や場合に応じて敬語を使う、目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして文章を書くことなどは、全国平均を上回りました。しかし、小学校・中学校ともに、文脈に応じた漢字を正しく書くこと、また中学校では、文章の構成や登場人物の言動から、内容を理解すること、古典作品の理解が、全国平均を下回り、課題が見られました。

算数・数学

平均正答率は、小学校・中学校で、A問題・B問題ともに、全国平均を下回りました。

中学校では、絶対値や中央値、不等式の表し方、見取図・投影図を生かした空間把握などは、全国平均を上回りました。しかし、小学校では、図形の構成要素や性質、分配方式の式、数値の規則性などを活用して考えること、中学校では、グラフを活用して事象を解釈したり、条件に即して数学的に証明したりすることが全国平均を下回り、課題が見られました。

理 科

平均正答率は、小学校・中学校ともに、全国平均を下回りました。

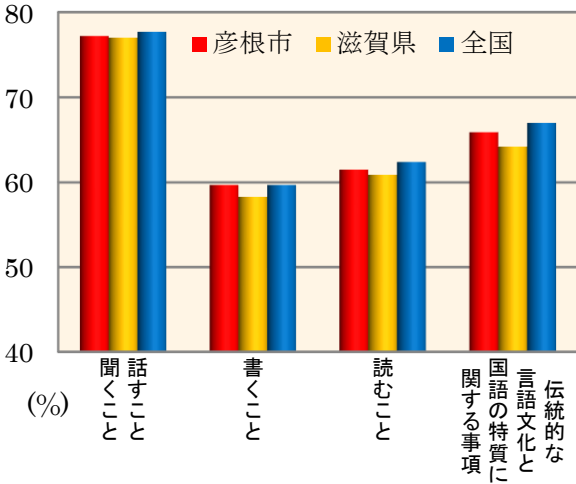
中学校では、神経系の働き、主要動、蒸散、ガスバーナーの使い方など、基礎的な知識・技能などは、全国平均を上回りました。しかし、小学校では、関節・堆積などの基本的な科学的な言葉の理解、また、小学校・中学校ともに、複数の資料や実験結果を基に、その分析やまとめ、新たな疑問について説明することが全国平均を下回り、課題が見られました。

「ひこねっこ」の各教科の全体的な傾向

※彦根市の正答率の高い問題、全国平均より正答率が高い問題を「よくできていた点」に、彦根市の正答率の低い問題、全国平均より正答率が低い問題を「課題のみられる点」として、抽出してあげています。

小学校「国語」

領域別平均正答率 小学校6年 国語



領域別平均正答率では、「書くこと」領域において、全国と同等の結果でした。しかしながら、「話すこと聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域では、全国平均を下回りました。

相手や目的に応じて事例を挙げながら話す話し方について理解ができていました。しかしながら、漢字を文の中で正しく使うことや目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えることなどに課題がありました。目的や意図に応じて考えを書く問題で、無解答率が高い傾向にあります。

よくできていた点

○相手や目的に応じた説明のしかたの特徴をつかむことができました。

(問) 会話の中での村上さんの説明のしかたとして適切なものを2つ選びましょう。

二人の会話

すまません、図書館へ行くつもりですが、どう行けばいいでしょうか。青山橋の先にあると聞いています。

青山橋までの行き方は分かりますか。

はい、青山橋までの行き方は分かります。でも、その先の行き方が分かりません。

そうですが、では、その橋をわたつた後、まず行くところを、警察署が見えます。そこを左に曲がるとすぐ、図書館が見えます。

1 徒歩での時間を示した上で説明している。

2 図書館の様子をくわしく説明している。

3 相手の知識を確認した上で説明している。

4 目印になるものを示して説明している。

5 交差点の数を確認しながら説明している。

(正答③④)

課題のみられる点

○日ごろから漢字を文章の中で使う習慣を身に付けることが大切です。日記などで、習った漢字を進んで使うようにしましょう。

(問) 同じ漢字を使って書く文として適切なものを選びましょう。

おかし店の見学に行つて分かったこと

○ 調理場には、生地を練る機械など、せい違に必要なせつ備がある。

○ 衛生を保つために、調理器具などを一日に何度もしょうきする。

○ お客さんにおいしいおかしを食べてもらうために、品質をしっかりとかん理している。

○ 地元の野菜や果物などを使った新しいおかしをせつ極的に開発している。

オ 1 かん成した作品を先生に見せる。
2 近くの警察官に道をたずねる。
3 ビーカーと試験かんを水で洗う。

エ 1 三角形の面せきを求める。
2 大会でよい成せきを残す。
3 せき任の重い仕事をする。

(正答 エ③ オ①)

○主語と述語などの文中の語句の役割やつながりに気をつけて、文を書いたり読んだりしましょう。

(問) 文章を読み返して、--- 部と— 部とのつながり合っていない文を選びましょう。また、---- 部はそのままにして、文の意味が変わらないように正しく書き直しましょう。

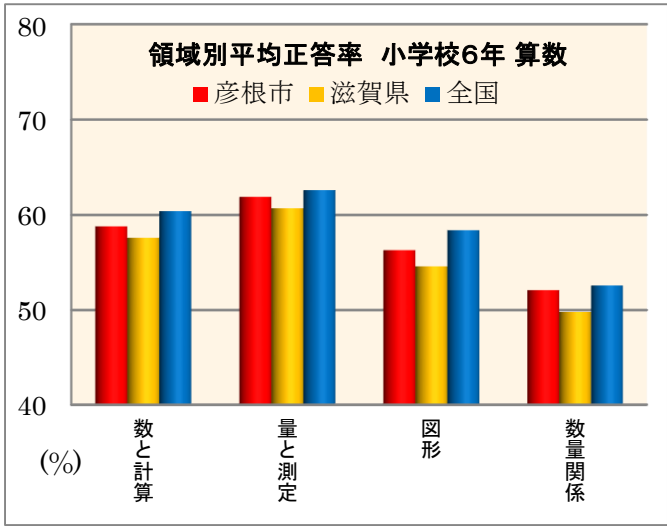
(正答)

- ・選んだ文の番号・・・④
- ・書き直した一文
反省点は、用具の手入れをしなかったことです。

【春休みの出来事の一部】

①ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものであります。でも、反省していることもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかり頑張りたいと思います。

小学校「算数」



領域別平均正答率では、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全領域で、全国平均を下回りました。

異種の二つの量のうち一方がそろっているときの混み具合の比べ方や 180° の角の大きさの理解には定着が見られました。しかし、小数の除法や分配法則を用いた基本的な計算の技能、円周率の意味の理解、図形の構成要素や性質、各種グラフの読み取りや示された考えを基に、自分の考えを書いたり、根拠を明確にして説明したりすることに課題が見られました。また、記述式問題の無解答率が高い傾向にあります。

よくできていた点

○異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方について理解できています。

(問) 表から、こみぐあいについてどのようなことがわかりますか。(正答 ①がこんでいる)

すわっている人数とシートの面積

| | 人数 (人) | 面積 (m ²) |
|---|--------|----------------------|
| ア | 6 | 4 |
| イ | 9 | 4 |

○ 180° の角の大きさについて理解できています。

(問) 角①の角度は、何度ですか。1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

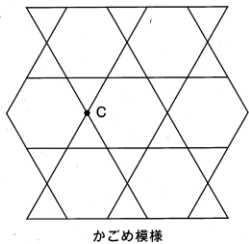
1. 0° 2. 90° 3. 180° 4. 270° 5. 360°

(正答 3)



○図形の特徴、グラフで読み取ったこと、友だちの考え方などをもとに、問題を解決するための方法や考え方が正しいことを、友だちや家族に自分の言葉で説明しましょう。

(問) 点Cのまわりに集まった角の大きさの和が 360° になっていることを、「着目した図形の名前」と「角の大きさ」がわかるようにして、言葉や式を使って書きましょう。



課題のみられる点

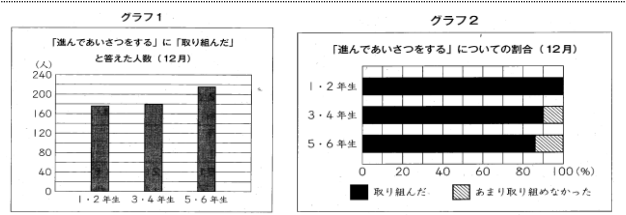
○簡単な図や数直線にかいて、問題の内容や数字の意味を考えたり、言葉で説明したりして取り組みましょう。

(問) 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を、下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1mの重さが12kgの鉄の棒があります。この鉄の棒0.8mの重さは何kgですか。
- 0.8Lで板を12㎡ぬることができるペンキがあります。このペンキ1Lでは、板を何㎡ぬることができますか。
- 赤いテープの長さは12cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。
- 長さが12mのリボンを0.8mずつ切っていきます。0.8mのリボンは何本できますか。(正答 2と4)

○式の成り立ちまりを使って、練習問題に取り組みましょう。

○ + □ = □ + ○
 (○ + □) + △ = ○ + (□ + △)
 (○ + □) × △ = ○ × △ + □ × △



(2) グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

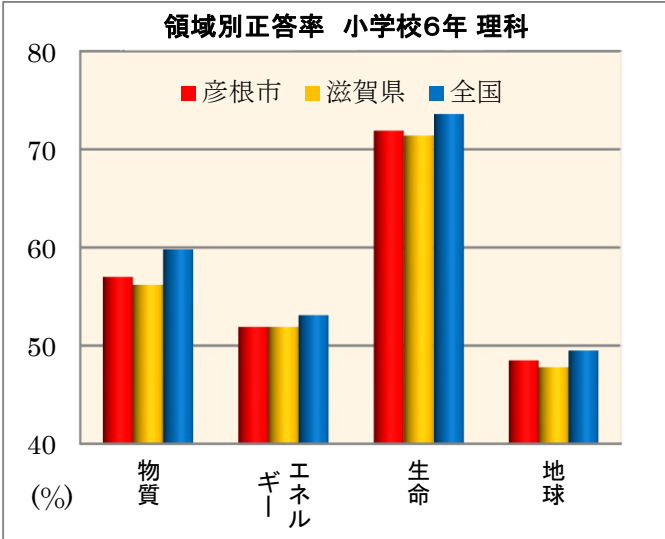
- ・「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは [②] です。
- ・ [②] の、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん [④] です。

上の②にあてはまるものを、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の④にあてはまるものを、下の4と5から選んで、その番号を書きましょう。

- ① 1 1・2年生
- ② 2 3・4年生
- ③ 3 5・6年生
- ④ 4 小さい
- ⑤ 5 大きい

(正答 1と5)

小学校「理科」



領域別平均正答率では、「物質」「エネルギー」「生命」「地球」の全領域で全国平均を下回りました。

野外の観察では、自己の安全確保とともに、生物を愛護することも留意して観察方法を構想すること、示された複数の実験結果をもとに、それらに関連付けて多面的に分析することができました。しかしながら、「関節」「堆積」などの科学的な言葉や概念の理解、適切にろ過を行う方法、実験結果を基に、その分析やまとめを自分なりに説明する記述式の問題に課題が見られました。

よくできていた点

○安全に気をつけて、生物を愛護する視点をもって、観察方法を構想することができています。

(問) 親鳥の子育てのじゃまをせずに、安全に気をつけてできる方法はどれですか。(正答 2と4)

1. はしごを使って高いところに登り、観察する。

2. 棒の先に鏡を取りつけて、親鳥がいないときに鏡を単に近づけて観察する。

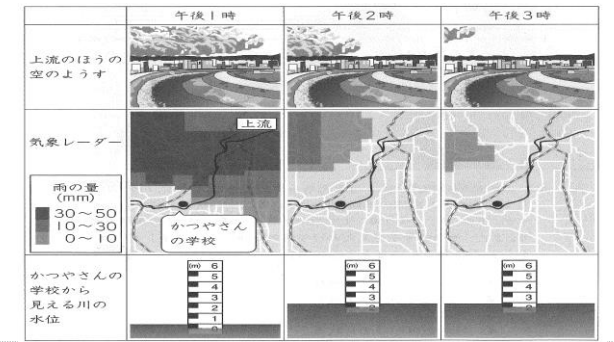
3. ひなを鳥かごに入れ、教室で飼育しながら観察する。

4. ビデオカメラで、はなれたところからひなのようすを記録し、あとから再生して観察する。

○複数の情報や、異なる方法の実験結果をもとに、多面的に分析して考察することができています。

(問) 表から、かつやさんの学校から見える川の水位についてどのようなことがいえますか。下の1から4までのの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1, 上流で雨が降り始めると同時に、水位は高くなる。
- 2, 上流で雨が降って1～2時間たってから、水位は高くなる。
- 3, 上流で雨がやんでも、水位は1～2時間では変わらない。
- 4, 上流で雨がやむと同時に、水位は元にもどる。(正答 2と3)



課題のみられる点

○身の回りのことと関わらせて実験に取り組んだり、その結果や分かったことを、理科の言葉やきまりを使いながら自分なりに説明したりしましょう。

- 関節 ○筋肉 ○堆積 ○浸食 ○運搬
- 検流計の使い方 ○ろ過の方法
- 乾電池のつなぎ方と電流の向き ○物の溶け方の規則性

○日頃から実験結果をもとに、同じこと・ちがうことに注意して比べたり、これまでの学習やいくつかの結果から考えたりして、自分なりに説明できるようにしましょう。

(問) 実験の結果から、川を流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずられ方は、どのようになると考えられますか。下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましょう。(正答 1)

- 1, 外側も内側もけずられる。
- 2, 外側も内側もけずられない。
- 3, 外側だけがけずられる。
- 4, 内側だけがけずられる。

水の量を変えた実験

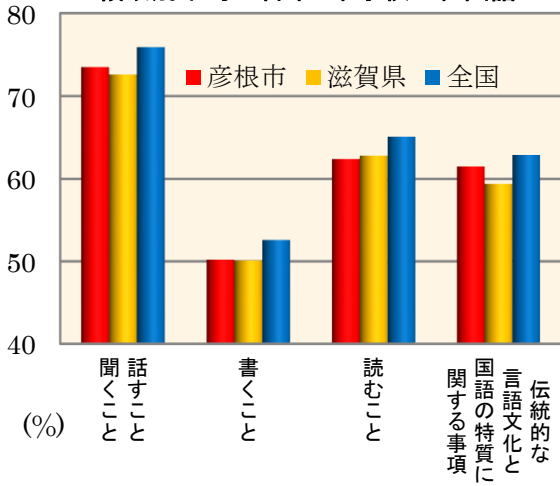
○地面のけずられ方についてくわしく調べるために、みぞの曲がっているところの外側と内側に3本ずつ棒を立てる。

○1本のペットボトルの水を流したときと、2本のペットボトルの水を同時に流したときの棒のようすを調べる。

| 実験結果 | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1本のペットボトルの水を流したときの棒のようす | 2本のペットボトルの水を同時に流したときの棒のようす |
| | |

中学校「国語」

領域別平均正答率 中学校3年 国語



領域別平均正答率では、全ての領域において全国平均を下回りました。

「話すこと聞くこと」では話し合いの話題や方向をとらえることに、「読むこと」では文章の意味や役割などを考え内容の理解に役立てることに課題が大きく見られました。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、慣用句など語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うことや、歴史的仮名遣いを現代的仮名遣いに直して読むことといった基本的な内容に課題がありました。また、記述式の問題で無解答率が高い傾向にあることも課題です。

よくできていた点

○漢字を正しく読みだり、接続詞の働きを理解したりすることができています。

(問) 正しい読みを書きなさい。
・**模型**を作る。 ・池の水が**凍る**。 ・**技**を磨く。

(問) 「それでは」の働きとして最も適切なものを選びなさい。

- 前に述べたことを受けて自分の意見につなぐ働き
- 前に述べたことを切り替えて次の話題につなぐ働き
- 前に述べたこととは反対のことにつなぐ働き
- 前に述べたことを言い換える言葉につなぐ働き (正答②)

課題のみられる点

○語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使える言葉を増やしましょう。

(問) 適切なものを選びなさい。

- 彼は (ア) を切ったように話し始めた。
 - わたしが健康になったのは、(イ) 母のおかげです。
- ア: 1水気 2せき 3紙 4くう
イ: 1ひとえに 2ほのかに 3いちずに 4むやみに
(正答 ア② イ①)

○文章と図表など関連付けて読み、それらから分かることを考えながら読むようにしましょう。

(問) グラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。

○考えを書いてまとめたり、書いたものを読み返したりすることをくり返して、書いて表現する力を高めましょう。

(問) 話のあらすじを学級の友達に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

- 条件1** 話の展開を取り上げて書くこと。
条件2 70字以上、120字以内で書くこと。

【資料】

Q 「天地無用」の意味は？ (①下線 ■の欄が本文の意味)

| 回答 | 割合 (%) |
|-------------------|--------|
| (ア) 上下を区別してはいけない | 55.5% |
| (イ) 上下を区別してはいけない | 29.2% |
| (ウ) (イ) の誤り | 1.8% |
| (エ) (イ) とは全く異なる意味 | 4.2% |
| 分からない | 9.3% |

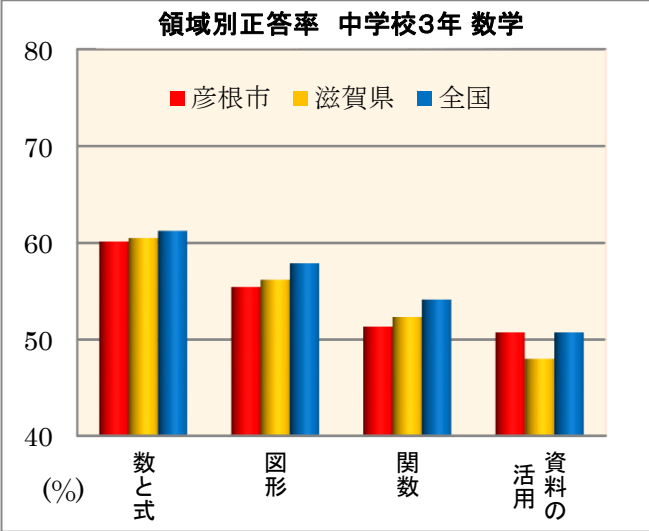
(年代別)

| 年代 | (ア) 上下を区別してはいけない (%) | (イ) 上下を区別してはいけない (%) | 分からない (%) |
|-----|----------------------|----------------------|-----------|
| 10代 | 36.0 | 28.6 | 13.4 |
| 20代 | 46.6 | 32.3 | 17.7 |
| 30代 | 54.9 | 29.6 | 15.5 |
| 40代 | 56.6 | 26.5 | 16.9 |
| 50代 | 59.2 | 29.2 | 11.6 |
| 60代 | 59.9 | 25.3 | 14.8 |

平仮名で書かれた「天地無用」という言葉を見て、「上下を区別してはいけない」という例文を見て、その意味を考えた。その結果、本問の正答である「上下を区別してはいけない」という意味を考えた人が多かった。これは、この言葉が「上下を区別してはいけない」という意味で使われていることを知っている人が多かったことが原因と考えられる。また、この言葉が「上下を区別してはいけない」という意味で使われていることを知らない人が多かったことが原因と考えられる。

(問) この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。なお読み返して文章を直したいときは二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

中学校「数学」



領域別平均正答率では、「資料の活用」領域においては、全国と同等の結果でした。しかしながら、「数と式」「図形」「関数」領域では、全国平均、滋賀県平均を下回りました。

「資料の活用」では、絶対値や中央値、最頻値など、数学の基本的な事項の理解に定着が見られました。「図形」「関数」では、外角と内角の関係、多角形の内角の和、各種図形の性質、比例、反比例の関係の理解に課題が見られました。事象を数学的に解釈し、判断の理由や問題解決の方法などを数学的に説明することに課題が見られました。また記述式問題の無解答率が高く、粘り強く課題に取り組む姿勢が求められます。

よくできていた点

○負の整数や絶対値、中央値、最頻値など、数学の基本的な事項を理解し、活用することができています。また、見取図や投影図から空間図形を読み取ることができています。

(問) 下の図は数直線の一部です。点Aが表す数を書きなさい。(正答 -18)

(問) 絶対値が6である数をすべて書きなさい。(正答 6、-6)

(問) 右の半円を、その直径を軸として1回転させて立体をつくります。このとき、できる立体の名称を書きなさい。(正答 球)

(問) 下の記録は、ある中学校の女子生徒9人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。反復横とびの記録の中央値を求めなさい。(正答 47)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 記録 | 37 | 41 | 43 | 45 | 47 | 50 | 50 | 50 | 51 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

(単位: 回)

課題のみられる点

○平行線や角の性質、三角形の合同条件などのきまりを使って、図形についての基礎的な問題に繰り返し取り組みましょう。

(問) 図1の五角形の頂点Pを動かし、∠Pの大きさを90°に変えて図2のような五角形にします。このとき、五角形の和はどうなりますか。

このとき、辺や角について、 $\angle B = \angle E$ のほかにどのようなことがわかれば、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるといえますか。下のAからEまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

○数量や図形、各種資料から見いだした事柄をもとに、問題解決の方法や自分の考えを、周りの人に話したり書いたりしましょう。

はじめの数 → 4をひく → 3をかける → 計算結果

(問) |はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる」という海斗さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

はじめの数として入れる整数を n とすると、計算結果は、

$$(n - 4) \times 3 + n =$$

○比例・反比例、一次関数について、基本的な事項やその特徴を関連付けて、繰り返し問題に取り組みましょう。

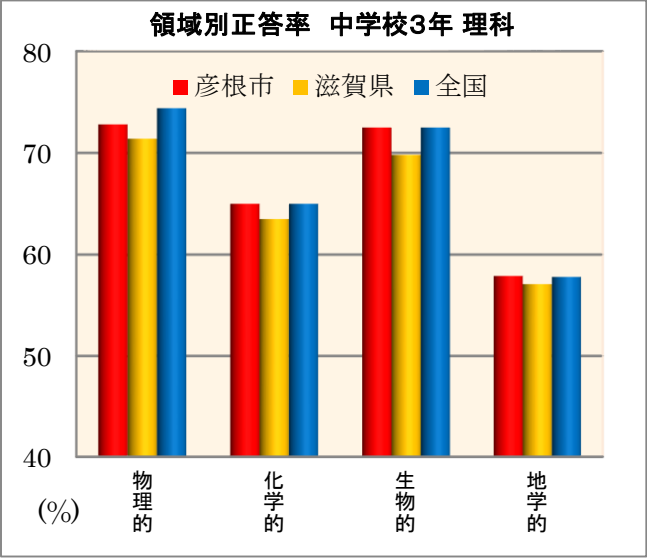
- 比例・反比例の比例定数
- x の変域に対する y の変域
- 座標
- 一次関数の増加量
- $y = ax + b$ のグラフの特徴

太一さんが作ったグラフ

(3) 太一さんは、A駅からの道のりが6kmの地点にある鉄橋を通る列車Aと列車Bの写真を撮りたいと考えています。

このとき、A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでにおよそ何分かかるかは、前ページの太一さんが作ったグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

中学校「理科」



領域別平均正答率では、「地学的」領域では全国平均を上回り、「化学的」「生物的」領域は全国平均と同様でした。しかしながら「物理的」領域は、全国平均を下回りました。

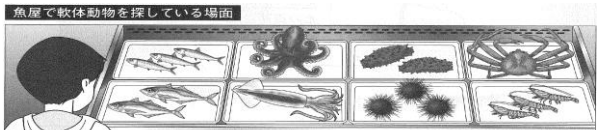
電気記号や原子記号、植物の蒸散など、理科の学習に関する基礎的な知識の定着が見られました。しかしながら、要因が複数ある実験を行う際、問題解決や実験の目的に合った条件制御の知識・技能の活用、習得している知識や示された情報、実験結果をもとに、それらを関連付けたり、多面的・総合的に捉えたりして説明することに課題が見られました。

よくできていた点

○理科の学習に関する基礎的な知識・技能の定着ができています。

【問】魚屋で軟体動物を2種類見つけました。軟体動物の組み合わせとして適切なものを、下のアからエまでのなかから1つ選びなさい。(正答 イ)

- ア、アジとイワシ イ、イカとタコ
- ウ、ウニとナマコ エ、エビとイカ



- ガスバーナーの使い方 ○電流計のつなぎ方
- 電気用図記号 ○原子記号
- 震度 ○マグニチュード ○主要動

○植物の葉などから水蒸気が出る働きについて、光合成・呼吸・気孔等の知識が定着しています。

実験ノートの一部

2月11日(日) 天気 曇り 気温 22℃

課題
密閉した透明な容器の中に鉢植えの植物を置くと、湿度は上がるのだろうか。

【実験】
容器の中の温度と湿度を測定する器具

A 植物あり

B 植物なし

【結果】
AとBの容器の中の温度は22℃で変わらなかった。

| 時間(時間) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|--------|----|----|----|----|----|
| 湿度(%) | | | | | |
| A 植物あり | 37 | 67 | 87 | 88 | 88 |
| B 植物なし | 38 | 39 | 39 | 38 | 38 |

【考察】
実験の結果から、鉢植えの植物を入れた容器の中の湿度は上がるといえる。

【新たな疑問】
水蒸気が植物から出るだけで、湿度が37%から88%に上がるのだろうか。

【問】下線部(水蒸気が植物から出る)の植物の働きを何といいますか。下のアからエまでのなかから1つ選びなさい。

- ア.光合成 イ.呼吸 ウ.気孔 エ.蒸散
- (正答 エ)

課題のみられる点

○実験の際には、問題解決や実験の目的に合うように、変える条件・変えない条件を整理して計画をするようにしましょう。

【新たな課題】
蛍光灯の下よりもっと明るい場所では、アサリが出す砂の質量は少なくなるのだろうか。

【新たな実験】
蛍光灯の下でアサリが出す砂の質量と、明るい窓ぎわの光の下でアサリが出す砂の質量を比較する(図2)。

光を当てる
蛍光灯の下
(フッポリフィルム)

↔

光を当てる
明るい窓ぎわの光の下
(フッポリフィルム)

図2

【問】春子さんと航太さんは、【新たな実験】で、もっと明るい場所に置くことによって明るさ以外にも変わってしまう条件があると考えました。変わってしまう条件として考えられるものを1つ書きなさい。(正答例:水温、水の体積)

【問】表1の X に適する変えない条件がいくつかあります。変えない条件を1つ書きなさい。(正答例:金網の位置、炎を当てる時間)

【課題】
ガスバーナーの空気の量を変えて、炎の色と金網につくスス(炭素)の量を調べよう。

【実験】
表1のように、変える条件と変えない条件を決めて、炎の色と金網につくススの量を調べる。

| 表1 | 空気の量 |
|--------|--|
| 変える条件 | 空気の量 |
| 変えない条件 | ガスの量、 X 、..... |

【結果】

炎の色

多い

空気の量

少ない

○日頃から、原因を考えたり、新たな疑問をもち問題を問いだしたりして、実験するようにしましょう。

【問】夏希さんは、アルミニウムは水の温度の変化に関係していることは分かりましたが、【新たな疑問】をもちました。あなたなら、アルミニウムについてどのような新たな疑問をもちますか。その疑問を書きなさい。(正答例:量を変えるとどうなるだろう)

【結果】

図3

【考察】
【結果】の図3のグラフから、BはAより温度が X ので、アルミニウムが水の温度の変化に閉結しているといえる。
また、BはAより最も高い温度になるまでの時間が Y ので、アルミニウムが水の温度の変化に関係しているといえる。

【新たな疑問】
.....

「ひこねっこ」の学習の課題

国語

- 学年別配当表に示されている漢字を用いた語句や四字熟語・慣用句など、さまざまな語句について、意味を正しく理解し、正しく読んだり書いたりすることに加えて、積極的に活用することを通して、生活の中で使える言葉として身に付けることが求められます。普段から、学習した言葉を文章の中で積極的に活用する習慣を身に付けることが重要です。
- 目的や意図に応じて自分の伝えたいことの内容を明確にしてくわしく書く力、目的に応じて文章を読み内容を整理して書く力の向上が求められます。

算数・数学

- 計算や作図等を正確に行い正答を導く基礎的・基本的な技能の習得に加えて、計算や数学的な用語の意味を理解したり、式やグラフ・表などを数学的に解釈したりするなど、数学的思考をはたらかせながら課題に取り組むことが求められます。
- 数や図表と自分の考えを関連付けて数式に表したり式の意味を自分の言葉で説明したりするなど、数学的な事象を表現する力の向上が求められます。

理科

- 学習内容の理解を確かなものにするためにも、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てたり、観察や実験の結果をもとに考察したりする学習をていねいに積み重ねることが大切です。
- 科学的事象を表す言葉や概念について身の回りのできごとと関連付けて考えるとともに、分かったことを伝えたりふしぎに思ったことを説明したりする、科学的な思考力・表現力の向上が求められます。

総括

- 各教科の基礎的・基本的な知識・技能を、確かに身に付けることが重要です。そのために、授業では、学習したことを活用する時間を確保し、学びの実感・定着を促します。家庭では、学習したことを復習したり習熟のためのくり返し学習に取り組んだりするなど、自主学習を習慣化することが大切です。
- 授業では互いに考えを表現し伝え合う交流の場を大事にしています。児童生徒が課題に対する自分の考えをもち、互いの考えを伝え合い共に学び合う時間を充実させることを通して表現力を育て、学習の深まりをめざします。
- どの教科でも、記述式の問題の無解答率は選択式の問題の無解答率よりも高く、「書くこと」に苦手意識をもつ子どもが多くいます。引き続き学校では、それぞれの教科の特性に基づいて、自分の考えを根拠を示しながら説明したり、考えを書いてまとめたりする学習を授業の中に位置づけ、思考力や表現力の向上を目指します。目的を明確にして考えを伝え合ったり、伝えたいことの内容を考えて書いたりするなど、自分の考えを的確に表現する学習を大切にしていきます。

「ひこねっこ」の学習・生活の調査結果

彦根市では、子どもたちの健やかな成長と、学び力の育成をめざして、「ひこねっこ 学びの6か条」を推進しています。

学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の回答状況を6か条の視点で分析し、彦根市の子どもたちの学びの様子を、見つめてみましょう。

彦根教育 学びの提言

ひこねっこ 学びの6か条

い

いっぱい本を読もう
ほん ほん ほん
本は心の栄養・知識の宝庫

い

いい汗かいて役立つ
あせ せ せ
家族のために、地域のために

な

なぜだろう、やってみよう
こうきしん まな いよく
好奇心は学ぶ意欲のみなもと

お

おはよう、ありがとう
あいさつでひとひとのつながりを

す

スポーツや外遊びをしよう
げんき からだ ところ
元気な体づくり、心づくり

け

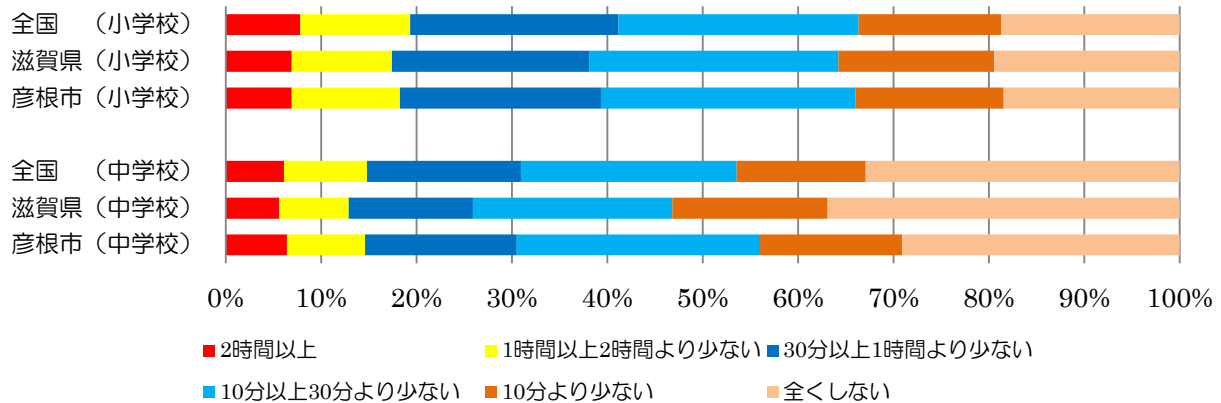
けじめある生活をしよう
はや はや あさ
早ね 早おき 朝ごはん



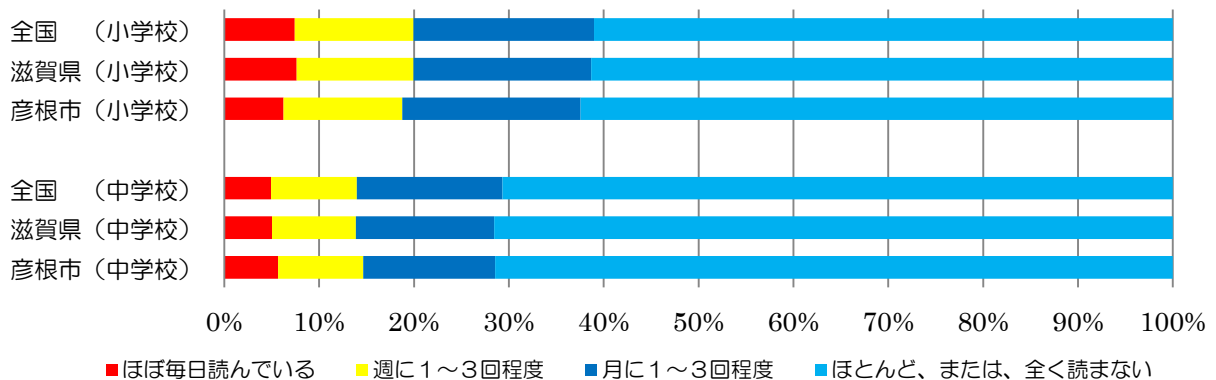


いっぱい本を読もう～本は心の栄養・知識の宝庫～

授業の時間以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか （全国比較）



新聞を読んでいますか（全国比較）



「普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という問いでは、30分以上していると答えた子どもは、小学校で40%程度、中学校で30%程度でした。いずれも、全国と同等の値を示しています。

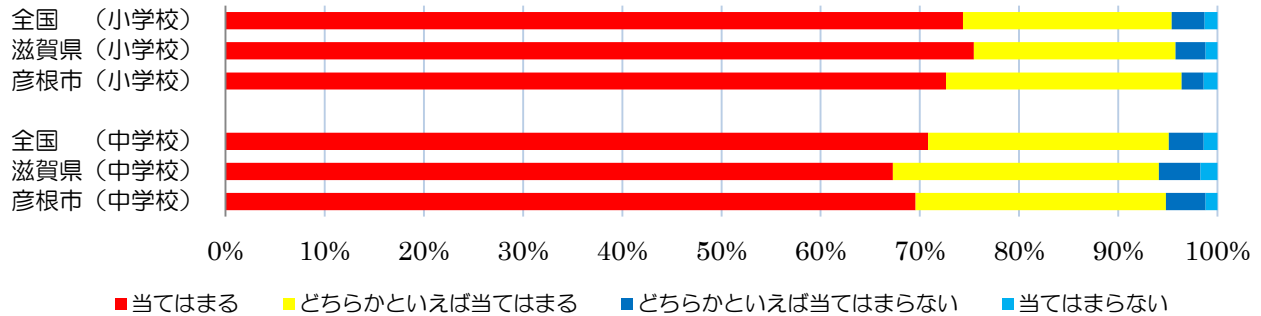
また、「新聞を読んでいますか」の問いでは、週に1～3回以上読んでいると答えた子どもは、小学校で20%程度、中学校で15%程度でした。小学校は全国より少ない値になっています。

本や新聞などを読むことには、新たな知識を得たり、想像力を高めたり、偉人や色々な人々の考え方や言葉に触れたりできるなど、さまざまな効果があります。また、本や新聞などの文章から、自分の語彙力を増やしたり、言葉の表現力を高めたり、文章を書く力を高めたりすることにもつながります。

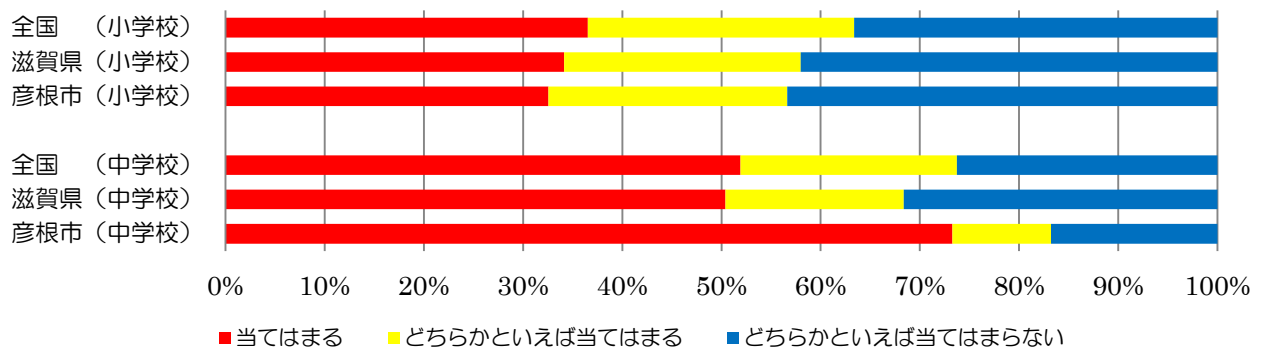
彦根市では、学校における読書活動推進のために、各小中学校に読書活動支援員を配置しています。学校支援ボランティアさんによる校舎での読み聞かせ、朝読書などの取組も継続しています。家庭でも、家族みんなで読書をする時間をつくるなどして、子どもの読書生活がより豊かになることを願います。



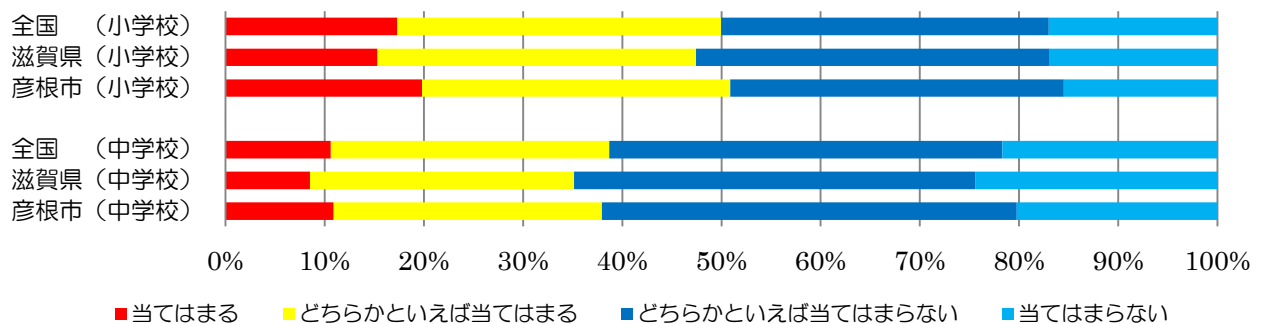
人の役に立つ人間になりたいと思いますか（全国比較）



地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（全国比較）



地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか（全国比較）



「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という問いに対して、小・中学校とも70%以上の子どもたちが当てはまると回答しています。また「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」という問いでは、中学校では70%以上の子どもたちが当てはまると回答し、全国の値を大きく上回りました。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の問いでは、肯定的に回答している子どもは、小・中学校とも全国の値と同程度かそれ以上でした。

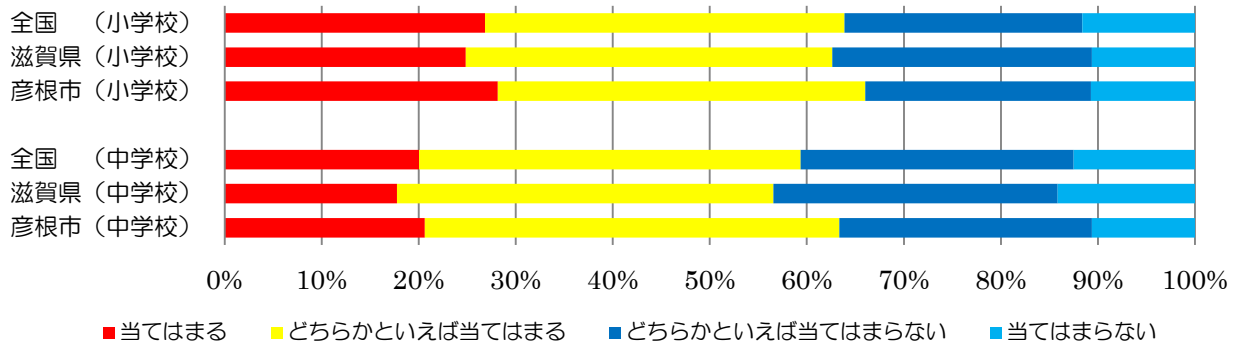
友だちとのかかわりや、家庭・地域の中で、自分にできることを進んでしようとする気持ちはとても尊いものです。自己有用感を感じることで、自分のよさに気づき、さらに将来に対する夢や希望を高めていくことができるでしょう。

学校でも家庭・地域でも子どもたちのよさを認め励まし支えることを大切にしましょう。

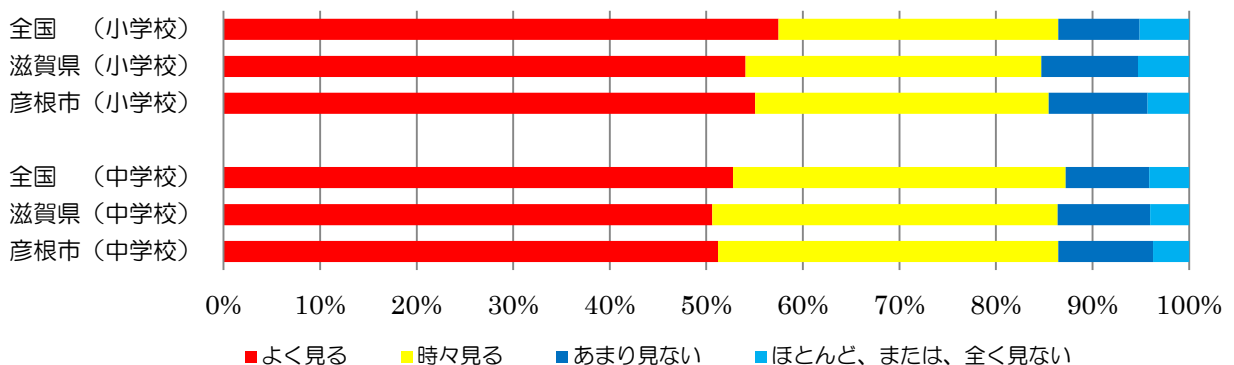


なぜだろう、やってみよう～好奇心は学ぶ意欲のみなもと～

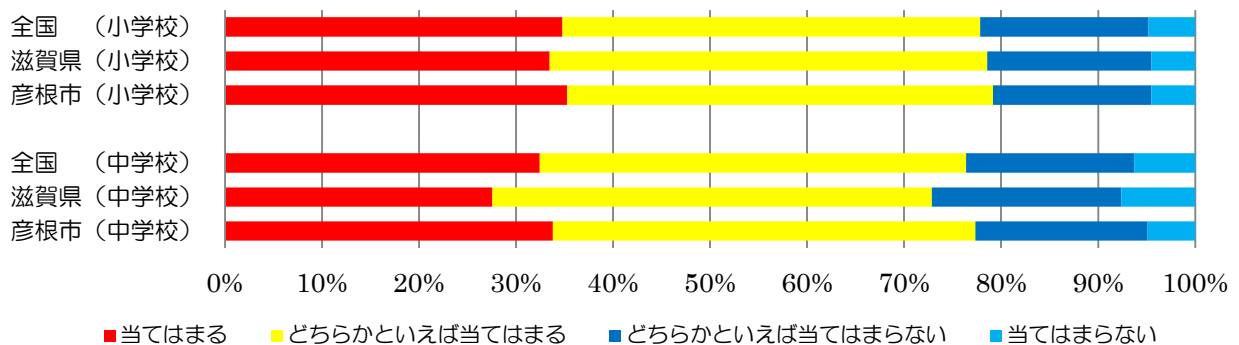
地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか（全国比較）



テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（全国比較）



学級の友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（全国比較）



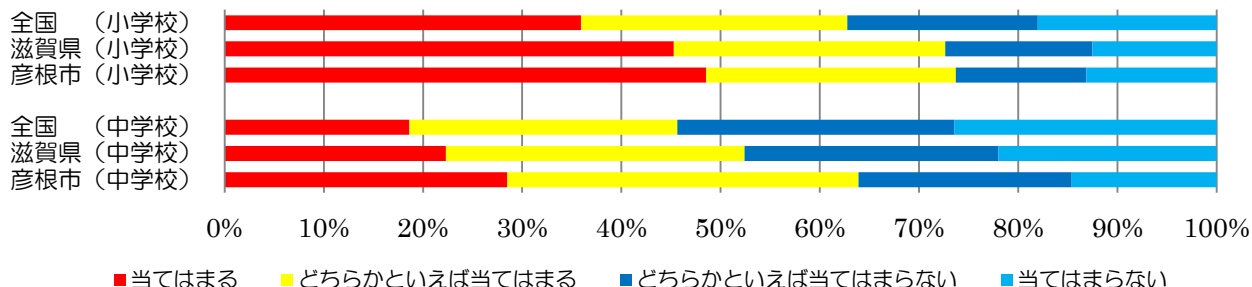
「地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか。」という問いに肯定的に回答したのは、小・中学校とも全国の値を上回っています。しかしながら、ニュース番組等の視聴率は、全国と比べると、低い値になっています。

学校では、子どもたちの考えを深めたり広げたりするために、日々の学習の中で、話し合う活動に取り組んでいます。「知りたい」「分かってほしい」という思いは学ぶ意欲となり、「考えを伝え合いたい」という思いは学びを深める第一歩です。子どもたちが自ら課題意識をもち、意欲的に学ぶことができるよう、支えていきたいです。

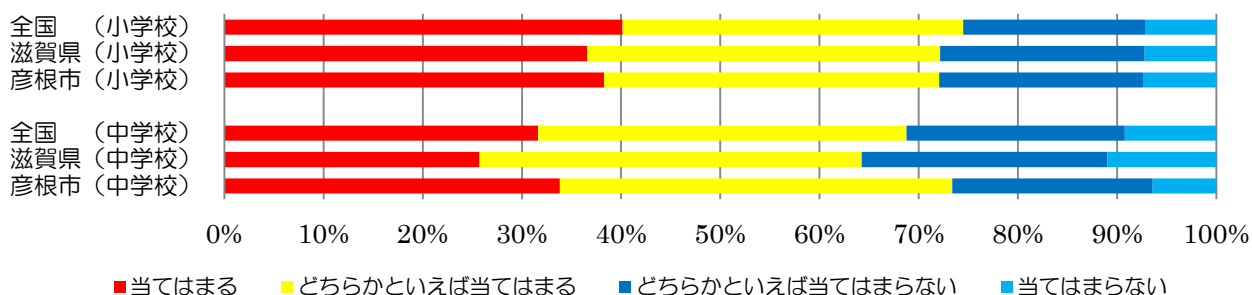


おはよう、ありがとう～あいさつで人と人とのつながりを～

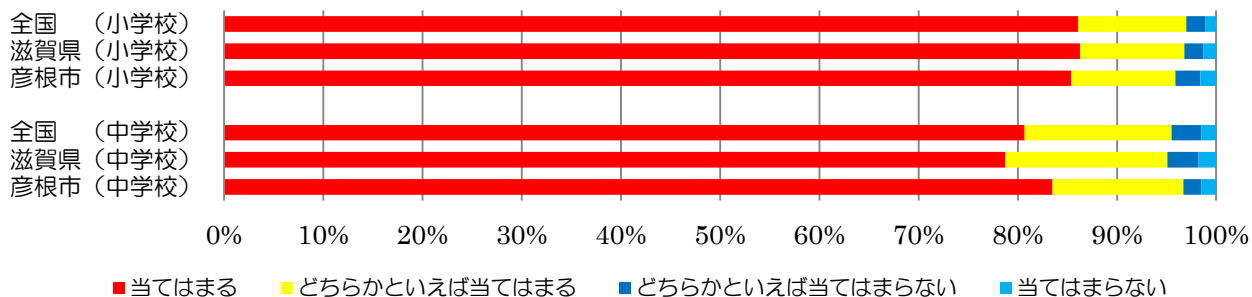
今住んでいる地域の行事に参加していますか（全国比較）



授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか（全国比較）



いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか（全国比較）



「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の問いに、小学校では約75%、中学校では約65%の児童生徒が肯定的に回答しており、いずれも全国の値を大きく上回っています。

また、「授業や課外活動で、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。」の問いに、小・中学校とも約70%が肯定的に回答しており、中学校では全国の値を上回っています。子どもたちが、行事や学習を通じて、地域とのつながりを深めていることがうかがわれます。

「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。」の問いには80%以上の子どもたちが当てはまると回答しています。

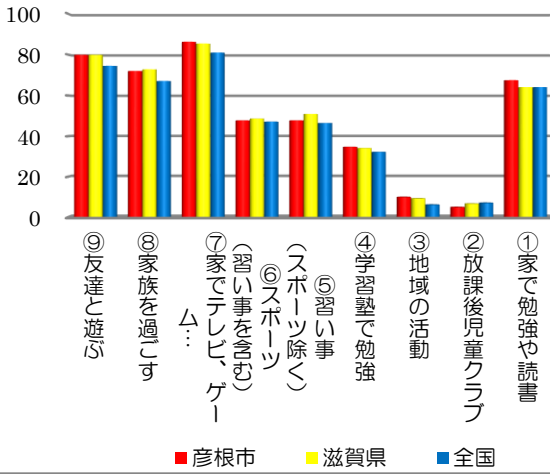
地域のつながりを生かし、地域のよさやお互いのよさを再確認する学習を通して、子どもたちの心身ともに健やかな成長を支えられるよう、今後も、学校・家庭・地域の連携充実を図っていきたいと考えます。



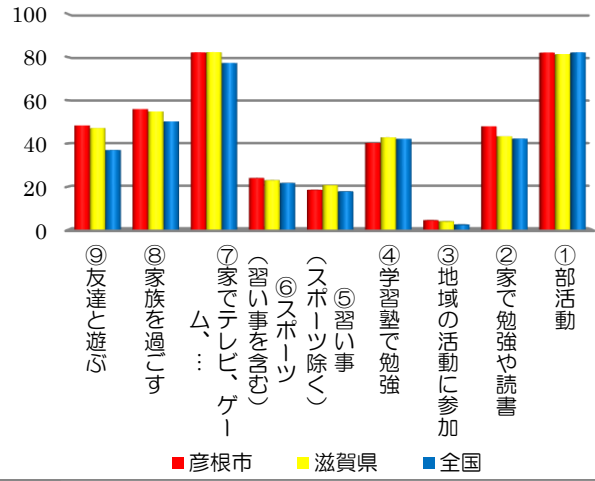


スポーツや外遊びをしよう～元気な体づくり、心づくり～

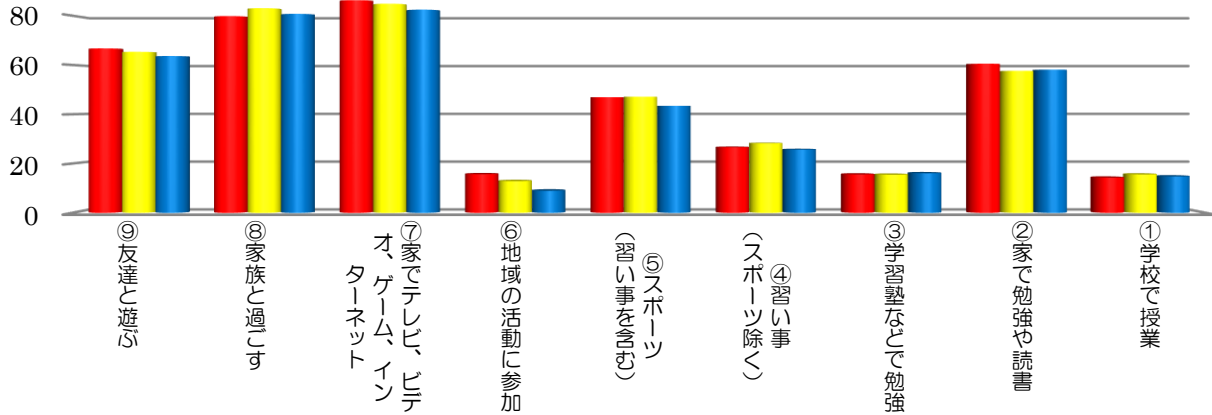
放課後に何をして過ごすことが多いですか（小学校）



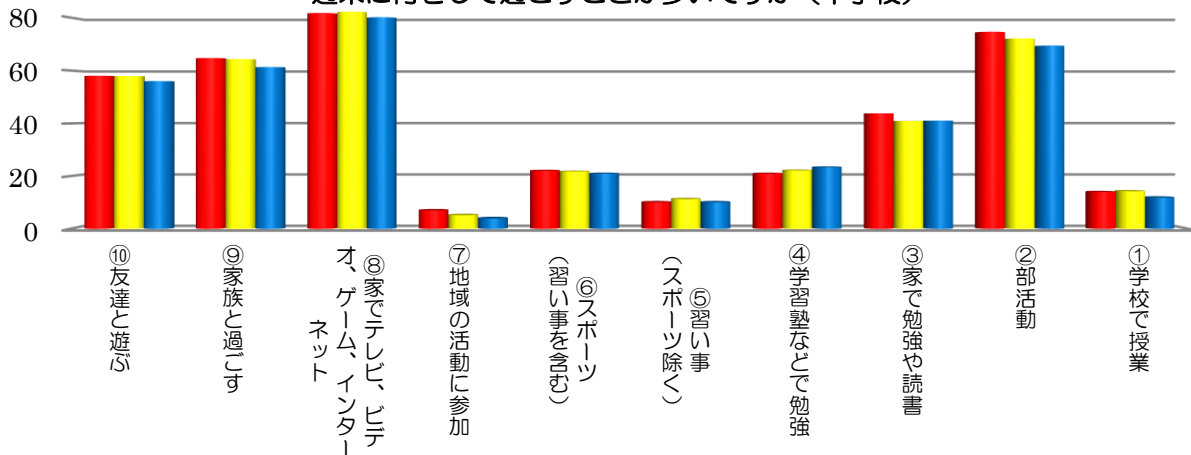
放課後に何をして過ごすことが多いですか（中学校）



週末に何をして過ごすことが多いですか（小学校）



週末に何をして過ごすことが多いですか（中学校）



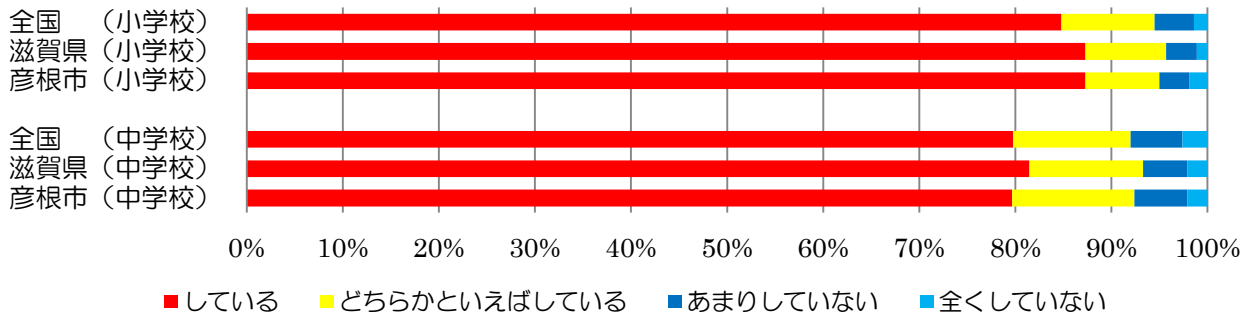
子どもたちが運動に親しむのは、部活動や運動系の習い事といった機会が多いようです。しかしながら、小・中学校とも、「家でテレビやビデオを見たりゲーム、インターネットをしている」と回答する子どもが、平日、週末を問わず全国よりも多くなっています。この傾向はここ数年続いており、学校・家庭との連携により、子どもたち自身が「ゲームをする時間を決める」「テレビを見る時間は、1日〇時間」などと、自分でメディアとの接し方についてルールを決めることが大切です。

「家族と過ごしている」「友達と遊んでいる」と回答する子どもが多いので、家族や友達との過ごし方を工夫することで、より運動に親しむことができるとよいと思います。

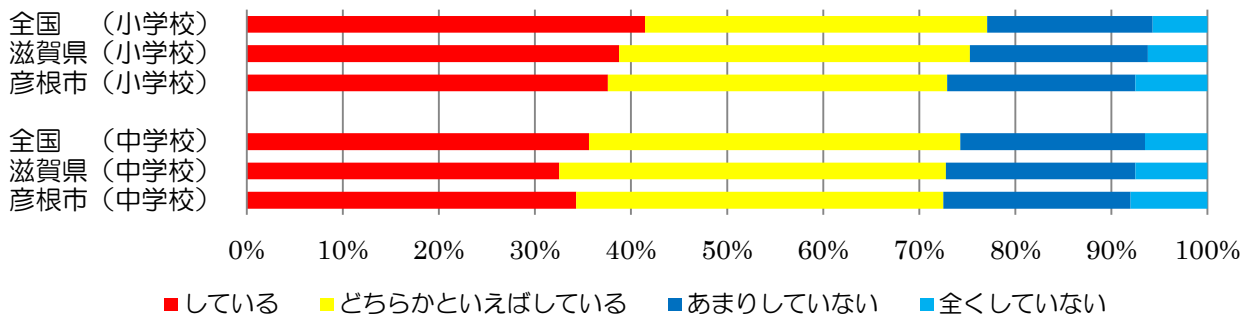


けじめのある生活をしよう～早ね 早起き 朝ごはん～

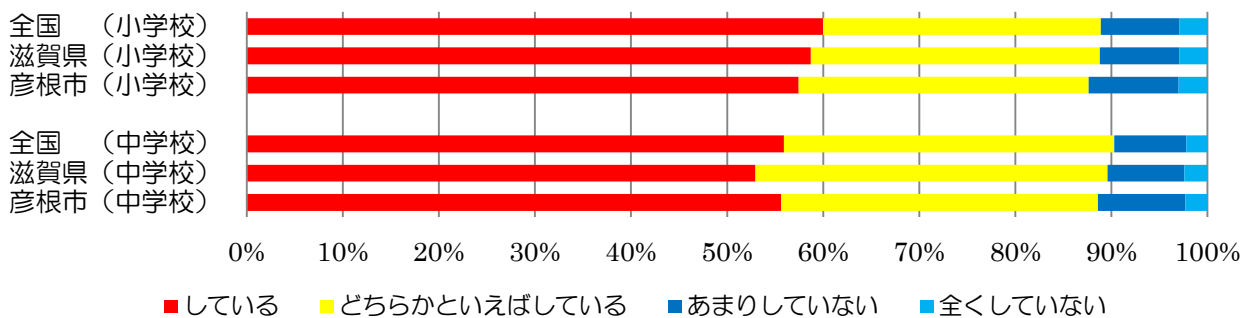
朝食を毎日食べていますか（全国比較）



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（全国比較）



毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（全国比較）



グラフからは、「早ね・早起き・朝ごはん」の3つの生活習慣について、彦根の子どもたちは、おおよそ良い習慣が身についていると見て取れます。

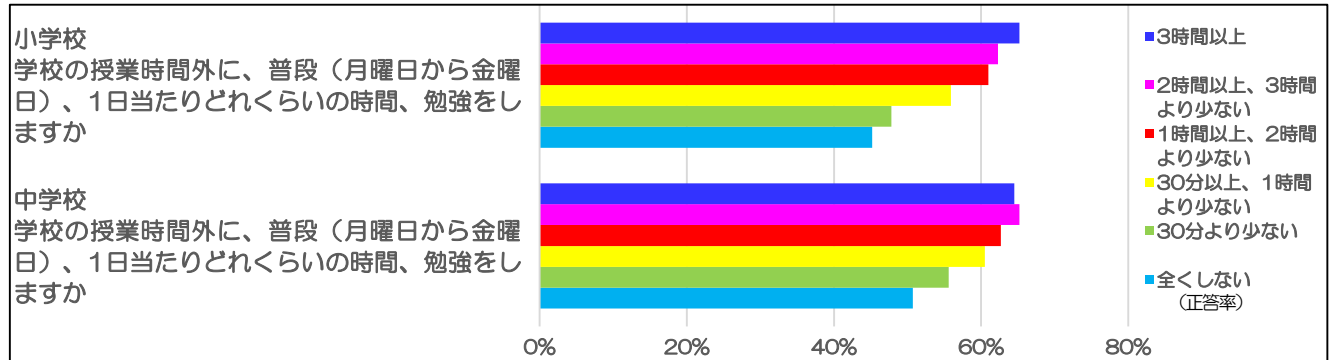
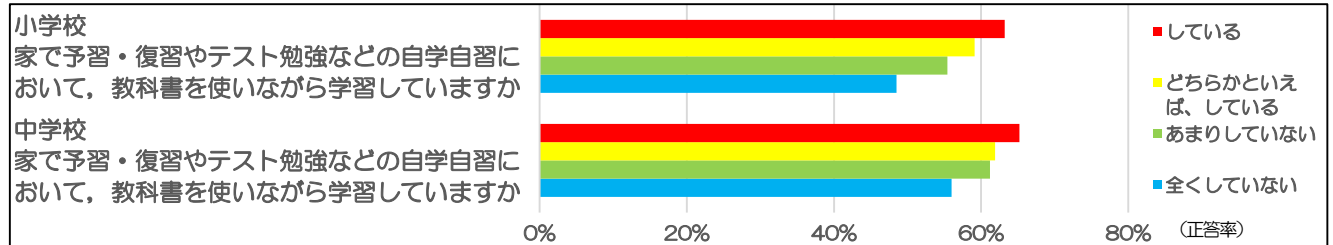
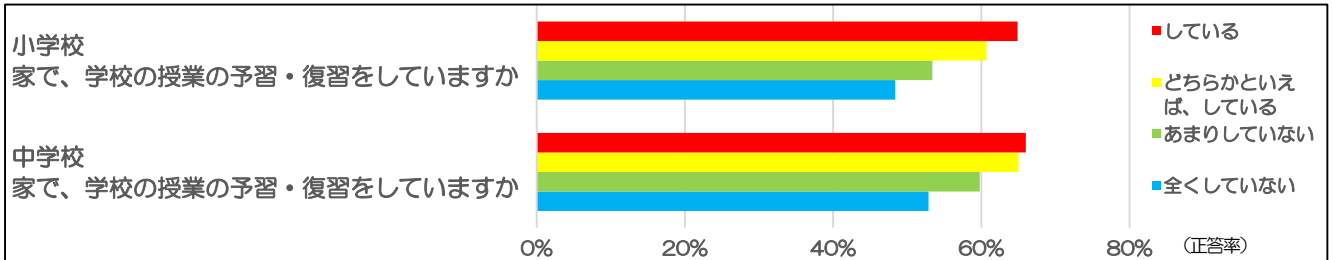
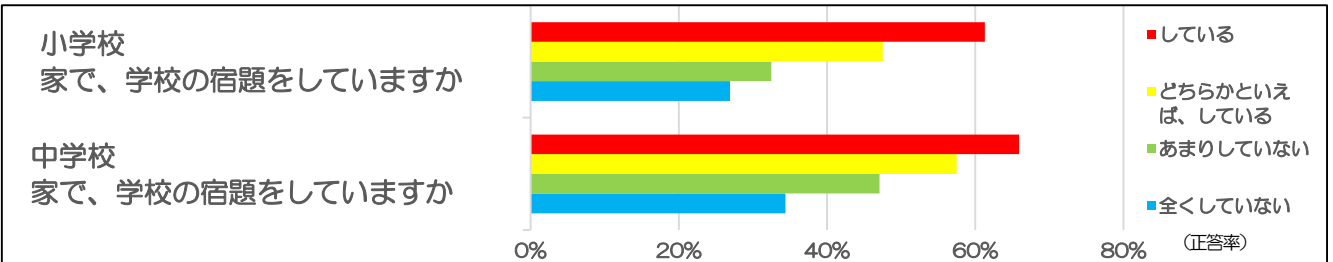
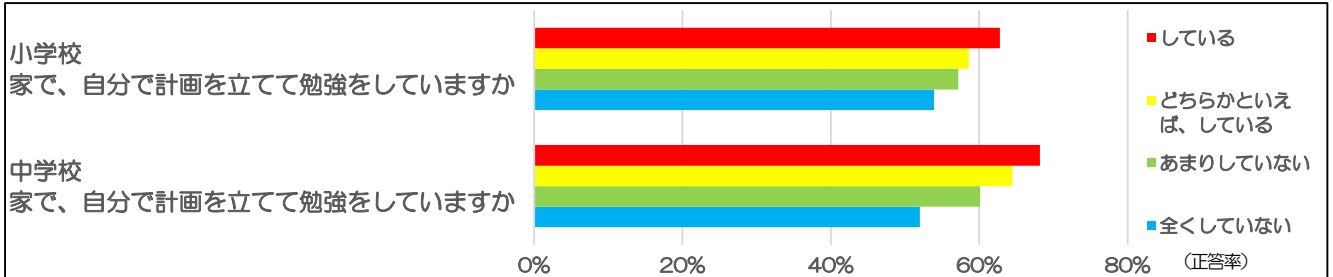
しかしながら、就寝時刻・起床時刻では、「している」とはっきりと回答できる子どもは、全国の値を下回り、日によってばらつきがあるようです。

子どもたちの日々の生活を支えるものは、基本的な生活習慣（規則正しい生活）です。基本的な生活習慣の確立は、子どもたちの学習を支えます。規則正しい生活ができるよう、今一度ご家庭の協力をお願いします。

学力調査と質問紙調査とのクロス集計から

家庭学習との関わりについて

※各質問項目において、それぞれの選択肢における「国語・算数（数学）・理科」の平均正答率をグラフにしたもの



家庭での、学習計画、宿題への取組、授業の予習・復習、教科書の活用など、どの質問項目からも、子どもたちの学力定着と家庭学習の関係は明らかです。

学校から出される宿題には、その日に習ったことからを繰り返し学習させて着実に身につけさせる、次の学習に向けて準備させるなどの意図があります。また、低学年から取り組むことで、家庭での学習習慣を定着させることもねらいであります。学校からは、「家庭学習の手引き」などを配布したり、根気強い取組を賞賛する彦根マイ☆（スター）に取り組んだりしています。保護者の皆様にも家庭学習の重要性をご理解いただき、学校、家庭ともに取組を充実させていきたいと思っております。子どもたちが学習に集中できる環境づくり、励ましにご協力をお願いします。